

HAPPY NEW YEAR

2020

法人の創設者が私淑されていた慶徳寺第十三代住職常觀和上が活躍された明治時代から五世代にわたる元号（ゴシック）を読み込んでご挨拶とさせて頂きました。

慶徳会も昨年は色々な課題に直面しましたが、皆で力を合わせて一つひとつ丁寧・誠実に取り組みを進め、充実した一年にしたいものです。

しい対策が望まれるところで。
昭光が見える新年であってほしい
と思います。**和**かな天候を期待しつ
つも、いざという場合に備える必要
がありますので、万一の場合は、昨
年4月に策定した「災害対策マニユ
アル」を有効に活用し、平常心で肅々
と計画を達成することが重要です。
令という文字には、「良い」とい
う意味があります。**和**は皆様ご存じ
のように「仲良く」という意味で、
人類が希求する世界を目指すような
元号を迎えて初のお正月となりま
す。

明けましておめでとうございます。治山治水は、古から国政の源とされていますが**大きな被害**をもたらした昨年の自然災害を振り返り、対策の見直し**が急務**となっており、**正しい対策**が望まれるところでです。

ふじだな

遊具で遊んでいました。

一方、成人の方が日中活動として利用される生活介護事業では、翌23日に鶴見緑地公園へ出かけ、秋晴れのもとでお弁当を開き、散策を楽しんできました。自然に囲まれて味わう食事は格別のように、皆さんのお

皆さんで、法人のマイクロバスに乗って万博公園に出かけました。車内では、皆さん終始ニコニコ顔でドライブを楽しみ、公園到着後は、すぐにお弁当の時間になり、その後はお楽しみ会の自由時間で、子どもたちは、大人が舌を巻くほど、元氣いっぱい芝生の上を走りまわり、遊具で遊んでいました。



苑外活動を楽しみました
～しみず～

障がい者サポートセンター「しみず」では屋外リクレーションと社会参加活動の一環として折に触れて苑外活動を企画しています。

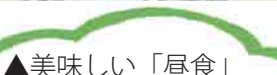
今秋は、10月22日に学童児の「デイサービス「れふあ」の子ども達と「しみず」のショートステイご利用者の

食後はグループに分かれてそれぞれのペースで公園内の散策を楽しみました。木々の色づきに季節を感じ、目と心に優しいひと時となりました。



「れふあ」・生活介護」とも限られた時間でしたが、自然の中で季節を感じてもらいながらのびのびと体を動かして十分にリフレッシュをして頂けたと思います。

様々な活動を通して、社会性を身に付けて頂くよう支援させて頂くとともに、皆さんが安心・安全に過ごして頂き、そして常に笑顔があふれるような施設運営を目指して、今後ともより良い支援に努めてまいります。



▲美味しい「昼食」
鶴見緑地公園
▶楽しい「散策」

「しみず」では、苑外活動や法人内外行事への参加、そして「しみず」屋上菜園の芋ほりや季節の行事など

社会福祉法人 慶徳会のホームページ <http://www.keitokukai.or.jp>

編集：慶徳会 広報室 〒567-0035 茨木市見付山1丁目3-29 電話 072-665-5165 FAX 072-665-5166

肌寒い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

寒くなると人恋しくなりまし
すし、温かい飲み物も欲しく
なりませんか。ホットコーヒー
などを口にするともホッとし
た気分になります。このよう
な気分にしてくれる
のが、認知
症カフェの
「かふえ
りーラ」で
す。

「かふえ
りーラ」は、
認知症のご
本人はもち
ろん、その
ご家族や地
域の皆様が
お気軽に
コーヒーな
どを飲みな
がら、ふれ
あいを楽し
んで頂くとともに、必要な情
報交換をして頂くこと等を目
的に開いています。が、「かふえ
」には毎回、20名ほどの地域の
皆様が、お互いに誘い合って出
席して下さっています。

レクリエーションには「笑い
ヨガ」や「歌体操」など、毎



▲ボランティアの皆さんの
リードでリフレッシュ体操



▶「お茶」を
しながらのだんらん

苑外活動を
楽しみました
～しみず～



▲美味しい「昼食」
鶴見緑地公園
 ▶楽しい「散策」



弁当箱はたちまち空になっていました。

食後はグループに分かれてそれぞれのペースで公園内の散策を楽しみました。木々の色づきに季節を感じ、目と心に優しいひと時となりました。

「れふあ」

令和元年11月1日（金）に第19回慶徳会・秋華祭文化発表会を茨木市立生涯学習センター「きらめき」で開催しました。秋晴れの爽やかな風が吹く中、約300名の方々のご参加を頂き笑顔溢れるひと時を過ごすことができました。

第1部の式典では、浅野博章大会顧問が進行し、理事長の挨拶に続き、長年にわたり秋華祭舞台の「めくり」を浄書して頂きました東海林香代子様に感謝状を贈呈させて頂きました。（＊）

また、多数のご来賓のご出席を頂く中、代表して茨木市長の福岡洋一様、茨木市社会福祉協議会会長の福井紀夫様から心温まるご挨拶を頂戴しました。

第1部での舞台発表は、創立40周年を迎えた真華苑の皆さんで、森 大輔施設長の施設紹介に続き、ご利用者による音楽体操が披露されました。「明日があるさ」という明るく前向きな歌を歌いながら、全身を使って楽しく体操されている姿がとても印象的で、会場にもその雰囲気伝わってきました。

賛助ご出演では、日本舞踊の桐彩扇先生の艶やかな舞と演歌歌手の中ひろみさんの素敵な歌声のステージで会場を大いに盛り上げて頂きました。

第2部では、13事業所の160



桐先生の華麗な舞踊

創立40周年記念の音楽体操（真華苑）



第19回 秋華祭文化発表会



福岡茨木市長様のご挨拶



絶唱される中さん



可愛い幼児さんの見事な演奏



第2部 オープニング「USA ダンス」（しみず）

名を超えるご利用者による発表が続きました。トップバッターの障がい者サポートセンター「しみず」の皆さんは「USAダンス」を披露。エネルギーで個性溢れるダンスに会場全体が熱気に包まれました。続いて高齢者関係事業所の皆さんによる合奏、合唱・輪唱や歌体操そして民舞などが披露されました。スポットライトを浴びたお一人おひとりのお顔や表情が会場からもしつかりとかがわれ、音楽療法の先生方のご指導を初めボランティアの皆さんのご支援・ご協力のもとで目標を持って練習して来られた成果が存分に発揮されました。

締括りの出演者は、子供の家の可愛い7名の幼児さんでした。緊張しながらも健気にハンドベルを演奏し、見事にトリの役目を果たすことができました。会場が優しさと感じに満ちた空気に包まれました。

一方、作品展示コーナーでもご利用者が丹精を込めて作成された個性溢れる展示品が大好評でした。

地域やご家族の皆様の温かいご支援とご協力を頂きながら、慶徳会の伝統あるこの行事が来年も、より充実して開催できますように願っております。

＊他に感謝状を差し上げた方：上原久美子様、株式会社 For it 様

西河原 多世代交流センター

「ハロウィンパーティー」を楽しみました

西河原多世代交流センターでは令和元年10月26日、近年我が国でもすっかりお馴染みとなりましたハロウィンパーティーを開催しました。

第1部は、皆さんが仮装しての参加でしたが、センター内6カ所にお化けに扮したボランティアが隠れ、子ども達に見付けられるとクイズを出題し、すべてのクイズに正解するとお菓子をゲットできます。そのため、子ども達は、オバケ探しにセンター内を必死になって駆け巡っていました。

また、カボチャなど様々な仮装をした子ども達に「可愛いねえ。バイバイ」とセンターご利用者から声を掛けられ、終始で機嫌でした。

▼クイズに真剣に答える子どもさん



▲缶転がしゲームに興ずる子ども達

第2部は、全員が大広間に集まり、普段、デイサービスご利用者に人気の「缶転がしゲーム」を行いました。比較的小さいゲームですが100点が出るたび歓声が起き大変盛り上がりしました。このパーティーには、シニアボランティアの方をはじめ、追手門学院高校ボランティア部の生徒の皆さん、そしてデイサービスのご利用者にもご協力して頂き、地域での世代間交流を深めるひと時となりました。

日頃の想いを語るご家族の皆さん



握手をして日頃の感謝の気持ちをお伝えし、会場全体に和やかな雰囲気が広がりました。

第二部は、本部研修室で「春菊苑ご家族懇談会」を4家族4名の皆様にご出席頂き開催しました。色々なご意見や感想を伺い、これからのご利用者への向き合い方のヒントを頂くことができました。また、温かいお言葉も頂戴し、介護職員としてやりがいにつながる貴重な時間となりました。

今後も、ご家族、ご利用者そして法人内施設との交流を深めていくことで、更なる支援の充実につなげていきたいと思ひます。



修了書を手に喜びの受講者の皆さん

6名の方に修了書を授与 第9回 介護職員初任者研修

令和元年8月31日から21日の講習会を終了し、12月21日（土）に全員の6名の受講生に、理事長から修了証が授与されました。

すでに介護職として勤めながらスキルアップを目指す方、介護の仕事に関心を持って勉強される方など受講の動機は、皆さんそれぞれですが、猛暑の時期から木枯らしの吹く季節まで、とても熱心に受講して頂きました。

この研修で学んで頂いた経験を活かし、一層、ご活躍されることをご期待申し上げます。